



＝令和3年度 魚沼市立宇賀地小学校 学校便り＝

チーム 宇賀地



令和3年7月21日 第4号

校長 永山 豊

うかにぎり

1学期のチャレンジに感動・感謝

1学期が終わろうとしています。コロナ禍が続く中、運動会や相撲大会などの様々な学校行事や教育活動を工夫して着実に行うことができました。これも、保護者、地域の皆様からの御支援、御協力のおかげと感謝申し上げます。

子どもたちは1学期の学校行事や学習活動を通して、学びを深め、経験を積み重ね、大きく成長してきました。

6年生の国際交流会、佐渡修学旅行の作文を御紹介します。

「国際交流会」 6年 A

私は国際交流会で何種類もの気持ちがありました。

まずは、楽しい気持ちです。外国から来た交流生が夏休みなのに、わざわざ来てくれました。私は外国人さんとは会う機会がありませんのでウキウキしました。

次は、こわい気持ちです。外国の人と会う機会がなく最初はとてもこわかったです。けれど、しゃべっているうちに、皆さんがとってもやさしく、おもしろいことがわかりました。

今日は、留学生さんへプレゼンをしました。私の目標は魚沼の伝統を受けついでいることを外国の方でもわかりやすくおもしろいプレゼンにすることでした。最初は英語なんてわからないものすごくなげ出していましたが、国際交流の意味を知り、6年生+留学生さんが楽しめるようにしました。それも目標でした。

天神ばやしをアドリブでやったり自己紹介をしたりしました。ヨーゲスさんやスザンヌさん、サロンさん、通訳のみさちゃんが来てくれました。ネパールやインド、ナイジェリアの食べ物や洋服、かみがたなど様々な国に違いがあることが分かりました。

反省点は意見を言えなかったことです。私は、この反省点、良い点を生かして、これから、外国の人とのかかわり方などを向上させていきたいです。



「魚沼の米の未来を発表」



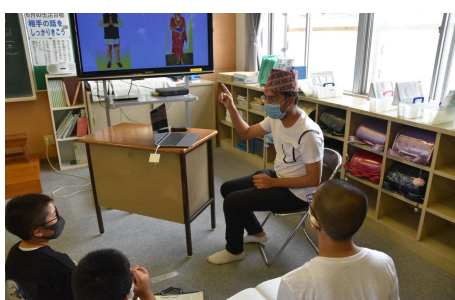
「宇賀地小祝い太鼓を伝授」



「留学生と太鼓のセッション」



「天神囃子の発表」



「留学生さんから自国の紹介」



「留学生・通訳さんと撮影」

「修学旅行を振り返って（佐渡編）」 6年 B

（一日目）

ジェットfoilが佐渡に着いた時、「佐渡に着いた！」というような感覚はなかった。そのくらい自分が思うより自然な感じだった。予定の変更により、一番最初にやったのは砂金とり。「初級者コースだからたくさんとれるかな。」と思っていたけれど、砂金をさがす作業は大変だった。結果は6個とれたが、とてもこしが痛くなった。その分とても楽しかった。

金山では坑道の見学をした。とても寒かったが喋る人形の言っていること「早く外に出て酒が飲みてえなあ。」など、皆で笑い合ったので寒さがやわらいでいったような感じがした。

ホテルで小さな事件があって、皆で話し合った時、「起きてしまったことは仕方がないことだから、今みたいに重苦しい雰囲気にならずに楽しもう。」と言いたかったけれど、きん張のせいかな、言い出せなかった。でも、その後の夕食、浮遊洗鉱場は楽しく、良い雰囲気で過ごせてよかった。

（二日目）

二日目の活動は釣りから始まった。一時間半くらいもの時間を集中して釣りをしていたことを知った時とてもおどろいた。結果、釣れたのは二匹。一匹も釣れなかった・・・なんてことにならなかったからよかった。

そして、その後昼食をはさみ、一番楽しみにしていて、一番楽しかったマリンスポーツ。ジェットスキーもバナナボートもとても速く楽しかった。ジェットスキーは特に速くて、少しだけ怖かった。

今回、修学旅行を終え、坑道でマリンスポーツで楽しく活動をして笑い合ってホテルで話し合って「修学旅行を楽しみたい。」という思いが一つになったことで、6年生の絆が深まったと思う。

釣りの前に、「知恵を使うことが大切。」と言われた時、とても大切にしたいと思った。その人の例えの中で、「ハザードマップでいくら確認しても、実際にあった時、経験がないから亡くなってしまう。」と言われた。そのことから、「経験を積んで知恵を積み重ね、その知恵を生活の中で使うことが大切」だと思った。次の修学旅行の立山登山では、協力して、更に絆を深めたいと思う。



「砂金採り」



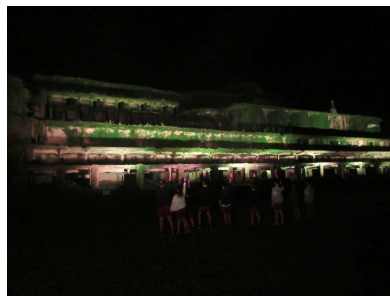
「いか裂き体験」



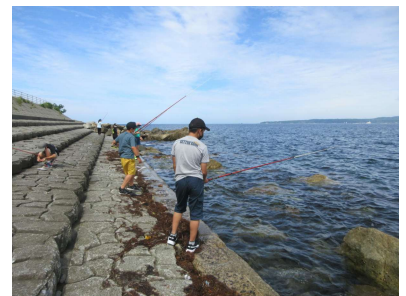
「金山坑道見学」



「金の延棒取り」



「北沢浮遊洗鉱場見学」



「釣り体験」



「バナナボート体験」



「ジェットスキー体験」



「カモメへえさやり」

さて、7月29日から夏休みになります。夏休みは、子どもたちが長い休みを使って、家庭、地域で過ごす有意義な期間となります。「新しい生活様式」を踏まえ、夏休みならではの活動、体験などにより、一回りも二回りも大きく成長することを期待しております。